

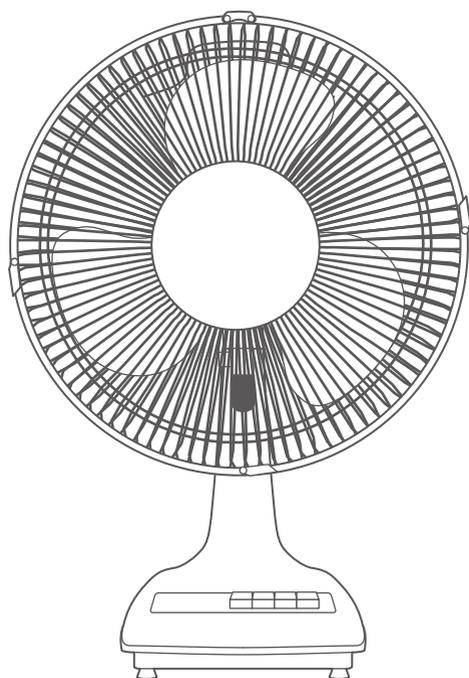
取扱説明書

RETRO FAN

レトロ扇風機

品番

AFR-170 FSSR-0719



- この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよく読み、ご理解の上でご使用ください。
- 取扱説明書及び、保証書は大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

安全上のご注意	1-2
各部のなまえ	3
組み立てかた	4-5
ご使用方法	6
お手入れ	7-8
故障かな?と思ったら・仕様	9
アフターサービス	10
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書（裏表紙）には保証書がついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.

安全上のご注意

必ずお守りください!

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告



禁止

- 本体内の機械部や隙間にピンや金属等の異物を入れないでください。
感電・ショートなどの原因になります。
- 小さなお子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
感電・ケガをする恐れがあります。
- 本体に水をかけないでください。高温多湿で水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。
感電・ショートなどの原因になります。
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
感電・火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったりたばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源プラグに付着した汚れやほこりなどは、定期的に取り除いてください。
汚れやほこりが残ったまま使用すると、異常発熱したり故障の原因になります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電・火災の原因になります。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。
- 修理技術者以外は、絶対に分解しないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、ケガをする恐れがあります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶10ページ参照



プラグを抜く

- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・ケガの原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

必ずお守りください!

⚠ 注意



禁止

- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上など高所に設置しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 風を長時間、直接身体に当てないでください。
健康を害する恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
故障・ケガの原因になります。
- 次の場所では使用しないでください。
発火して火災や爆発の原因になります。
・ ガスレンジやストーブ等の炎の近く ・ 引火性のあるガスや液体の近く
・ 雨や水がかかる場所 ・ ほこりや金属粉の多い場所 ・ 油などの多い場所
- カーテンや布等で周囲を遮る場所では使用しないでください。
後ろガードから吸い込まれ、故障・事故の原因になります。
- 衣類や布等を本体にかぶせないでください。
故障・事故の原因になります。
- 風に吸い込まれやすいもの(紙・ひも)の近くで運転しないでください。
吸いこまれたものが可燃性の場合、発火する恐れがあります。
- ガード内やモーター可動部に指などを入れないでください。
ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様はふれないよう注意してください。
- 異常な振動が生じた場合は運転しないでください。
振動によって扇風機が転倒し、ケガをする恐れがあります。
ガードや羽根の取り付けが悪い場合は、再度正しく取り付けてください。
- お手入れの際は、本体を水洗いしないでください。
故障の原因になります。
- 本体を横にねかせて運転させないでください。
故障・事故の原因になります。
- お手入れの際は、ベンジンやシンナー、アルコールなどを使用しないでください。
火災・故障の原因になります。
- 組立前に電源を入れたり、羽根・ガードをつけずに運転しないでください。
故障・事故の原因になります。
- ガードにテープやシールなどを貼らないでください。
故障・事故や異音の原因になります。
- 本製品は室内用及び家庭用です。屋外や業務目的で使用しないでください。
故障の原因になります。

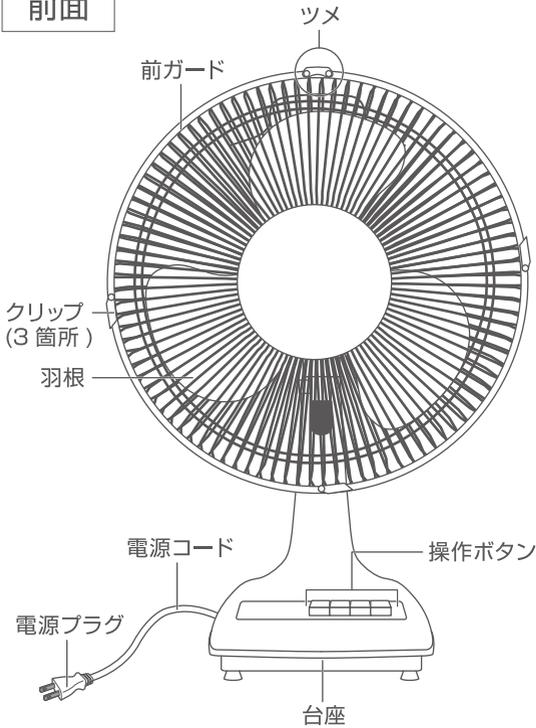


プラグを抜く

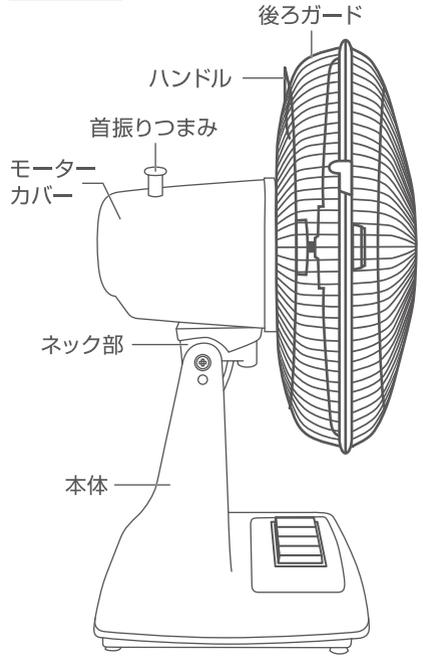
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

各部のなまえ

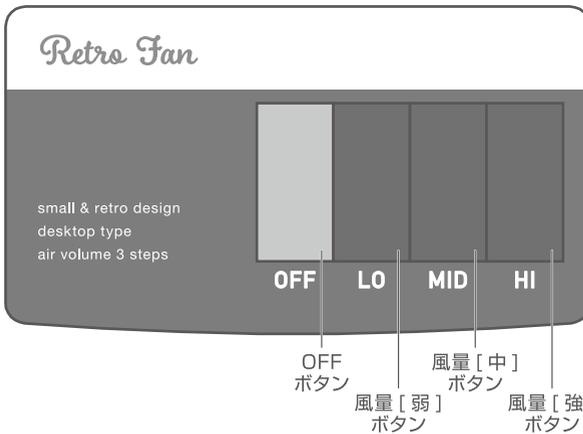
前面



側面



操作ボタン



組み立てかた

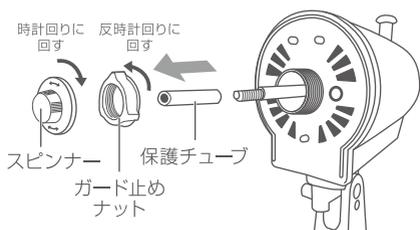
下記手順に従って組み立てをおこなってください。

1. 後ろガードを取り付ける

① スピナー、ガード止めナット チューブを取り外す

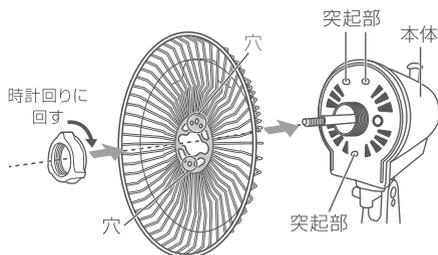
出荷時、下記3部品が取り付けられていますので、取り外してください。

※保護チューブは保管時に使用しますので捨てずに保管してください。



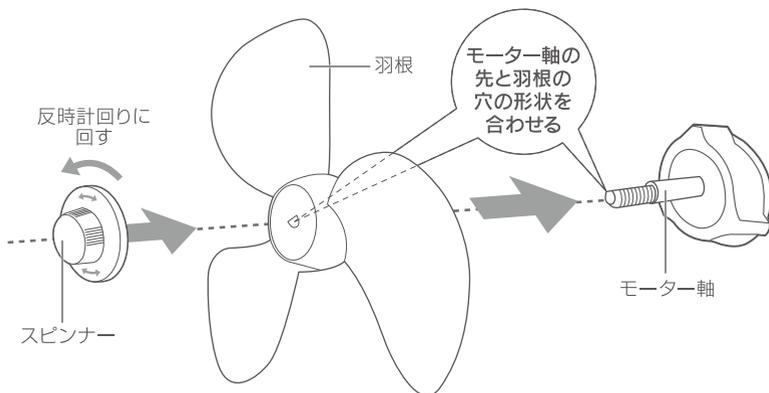
② 後ろガードをはめ込み ガード止めナットで締める

本体の突起部と後ろガードの穴を合わせてはめ込み、ガード止めナットを時計回りに回して締めます。



2. 羽根を取り付ける

羽根をモーター軸に通した後、スピナーをしっかりと締めてください。



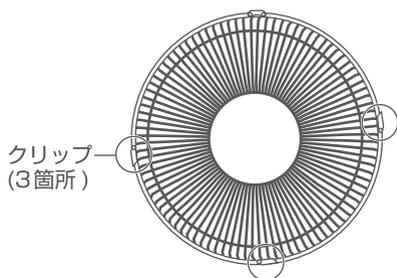
⚠ 注意

- ガード止めナットやスピナーは運転中にはずれないよう、しっかりと締めてください。
- 組み立て中に電源プラグをコンセントに差さないでください。
急にモーターが回りだし、ケガをする恐れがあります。
- 羽根のラベル（指入れ禁止）は剥がさないでください。
（事故防止のための、法律で定められた表示です。）

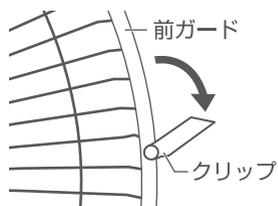
組み立てかた (つづき)

3. 前ガードを取り付ける

①前ガードのクリップ(3箇所)を開く

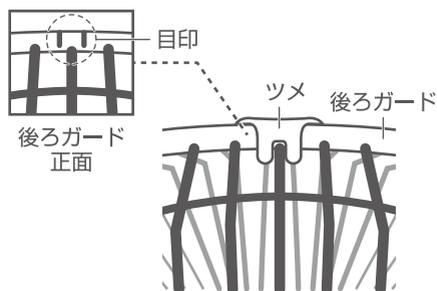
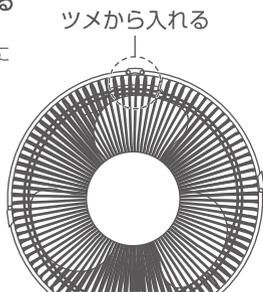


クリップを矢印方向に開きます。



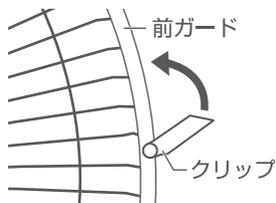
②前ガードを取り付ける

後ろガードの目印の位置に
前ガードのツメを
差し込みます。

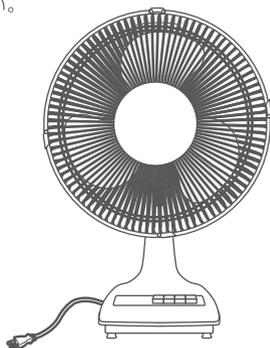


③前ガードのクリップ(3箇所)を閉じる

クリップを矢印方向に閉じます。
運転中にクリップが外れないようにしっかりと閉じてください。



組み立て完了



▲ 注意

●指などを挟まないように注意してください。

ご使用方法

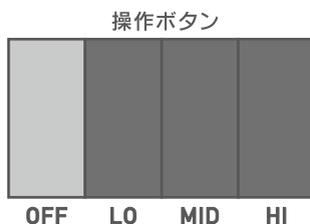
電源プラグを家庭用(100V)コンセントに差し込みます。

1. 操作のしかた

操作ボタン

操作ボタンを押し、運転を開始します
(LO:風量弱/MID:風量中/HI:風量強/OFF:運転停止)

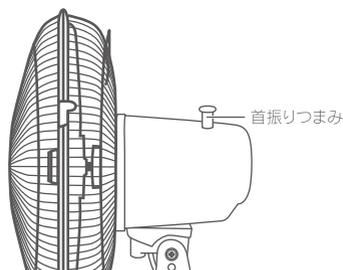
●運転を停止する際は「OFF」ボタンを押してください。



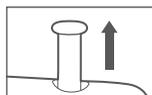
2. 首振り運転の設定

①左右の角度を調節する **左右自動首振り角度:約75度**

運転中に左右に首振り運転をさせるときは、モーター部の首振りつまみを押し下げてください。
首振り運転を止める場合は、首振りつまみを引き上げてください。

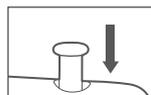


首振りつまみが
上がっている状態



首振り停止

首振りつまみが
下がっている状態



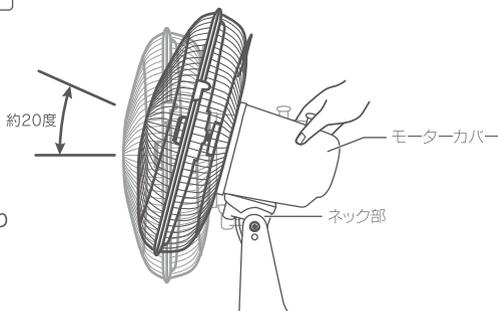
自動左右首振り

▲ 注意

- 運転中には無理に方向を切り換えたりしないでください。
- 万一首振りをしなくなった場合、直ちに運転を止め、弊社アフターサービスまでご連絡ください。

②仰角(上向き)を調節する **手動仰角:約20度**

台座を押さえながら、モーターカバー部を持ち
ネック部の角度を上動かしてください。
※俯角(下向き)は調節できません。



▲ 注意

無理に角度を切り替えたり、引っ張ったり押さえたり
しないでください。
故障の原因になります。

お手入れ

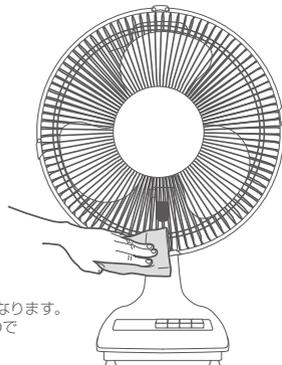
末永くお使いいただくために必ず定期的にお手入れをおこなってください。(1ヶ月に1回が目安)
お手入れ前に運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 本体のお手入れ

汚れがついたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけ、よく絞ってから拭くと汚れが落ちやすくなります。

⚠ 注意

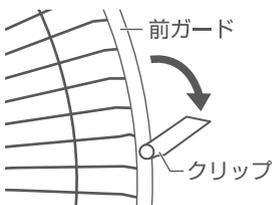
- シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・みがき粉は使用しないでください。
- 使用直後は、モーター軸などが熱くなっていますので、時間を置いてからお手入れをおこなってください。
- 羽根・ガード・ガード止めナット・スピナー以外は、水洗いをしないでください。故障の原因になります。
- 長期間お使いになると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着する事がありますので電源プラグを抜き、乾いた布で取り除いてください。



2. 各パーツを取り外す

①前ガードのクリップ(3箇所)を開く

矢印方向に開きます。

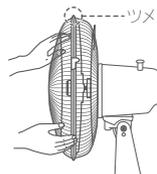


⚠ 注意

運転が完全に停止してからおこなってください。

②前ガードを取り外す

前ガード上部のツメを外しながら上に持ち上げます。

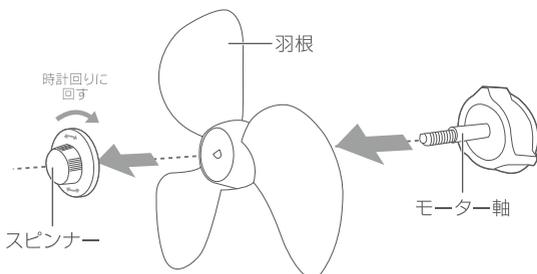


⚠ 注意

外す際は必ず両手で外してください。落下等で破損やケガの原因になります。

③羽根を取り外す

スピナーを時計回りに回して取り外し、羽根をモーター軸から取り外します。



⚠ 注意

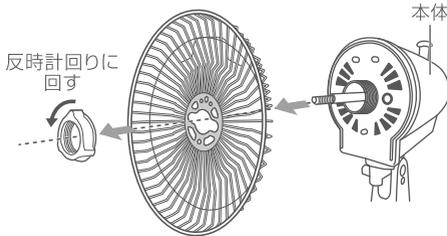
- 取り外す際は電源プラグをコンセントから抜いてください。急にモーターが回りだしケガをする恐れがあります。
- 羽根のラベル(指入れ禁止)は剥がさないでください。
(事故防止のための、法律で定められた表示です。)

お手入れ (つづき)

2. 各パーツを取り外す(つづき)

④ 後ろガードを取り外す

ガード止めネットを反時計回りに回して取り外し
後ろガードを本体から取り外します。



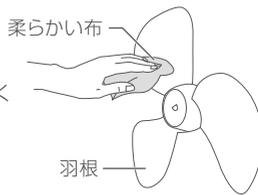
⚠ 注意

- ガードや羽根などの取り外し中にケガをしないように注意してください。
- 本体や部品に付着した汚れを良く拭き取って保管してください。
- ビニール袋などに各部品を入れてお買上げ時の箱に入れて保管してください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に放置しないでください。

3. 各パーツのお手入れ

① 羽根・ガードのお手入れ

柔らかい布やガーゼ等
からぶきしてください。
中性洗剤をぬるま湯で
薄めたものを布につけよく
絞ってから拭くと汚れが
落ちやすくなります。



② モーター軸のお手入れ (収納)

潤滑油などを塗っておくと、サビを防止することができます。

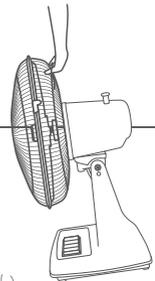


- ⚠ 注意** ● 本体に直接水や洗剤をかけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。

⚠ 扇風機を移動する際は...

羽根が回転中は移動しないでください。

がたつきや、外れかけの箇所がないか確認し、必ずハンドルを持ち本体を床から浮かせて移動してください。
本体を引きずり移動すると床を傷めますので、畳や傷つきやすい床の場所では特に注意してください。



故障かな?と思ったら...

故障かな?と思ったらときは、次の内容をお調べください。

症 状	原 因	処 置・確 認
正常に運転しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか?	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	正しく組み立ててありますか? ガードと羽根が接触していませんか?	組み立てに不備がないか確認して正しく組み立て直してください。(P.4~5参照)
異常音がる	羽根は正しく取り付けられていますか? ガードと羽根が接触していませんか?	組み立てに不備がないか確認して正しく組み立て直してください。(P.4~5参照)
	お手入れをしていますか? 羽根やモーター軸にホコリが溜まっていませんか?	お手入れをしっかりとこなしてください。(ホコリ等を取り除いてください)

上記をお確かめの上で、解決できなかった場合は、お買い求めの販売店、もしくは弊社アフターサービスまでご連絡ください。(商品の不具合状況をできるだけ具体的にお伝えください。)

仕 様

電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	回転数(r/min)	風速(m/min)	風量(m ³ /min)	電源コード(m)
100	50	33	1180	282	13.8	1.6
	60	34	1230	294	14.5	

※消費電力、回転数、風速、風量は「風量：強」の場合の数値です。

製品寸法	(約)幅350×奥行280×高さ510(mm)	首振り角度	左右：約75度(自動)、仰角：約20度(手動)
本体重量	(約)2.2kg	材 質	本体：ABS、PP ガード：SPCC

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買上げ販売店にご持参、または弊社にご連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- 保証期間が過ぎていた場合は、弊社にご連絡、ご相談ください。
- 保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、または語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

○この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日から1年間です。

●長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示

本体に表示している【設計上の標準使用期間】とは、経年劣化により危害の発生が高まることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた内容の表示です。

○設計上の標準使用期間とは？

右記の標準的な使用条件の下で、適切な取扱い、適切な維持管理により、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準期間を記しています。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証する期間ではありません。無償保証期間は、お買上げ日から1年間です。

(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3による【扇風機】

環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度/湿度	30℃/65%±20%
	設置場所	取扱説明書による標準設置
負荷条件		定格負荷(風速)
想定時間など	運転時間	8時間/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

○ご注意

(社)日本電機工業会が規格化した基準条件で算出した目安期間ですので、使用頻度、使用環境、業務用などで使用すると標準使用期間よりも短い期間で経年劣化する可能性があります。



設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。点検のご用命は弊社アフターサービスまでご連絡ください。

点検・修理・ご相談・お問い合わせ先

ご連絡していただきたい内容

●品名 ●品番 ●お買上げ日 ●販売店 ●故障の状況を具体的に

修理に関するお問い合わせ
アフターサービス等



0120-350352



2次元コード

営業時間：(平日)月曜日～金曜日 ※祝祭日を除く ※混雑時には繋がりにくい場合があります。つながらない場合は下記番号におかけください。
午前10:00～11:30 午後 1:00～ 5:00 予備回線：TEL.0587-38-5320

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

部品購入ご希望の方はこちらにアクセス ▶▶▶ <http://www.apix-direct.jp/>
アピックスインターナショナルダイレクトショップ